

ブルンジ月報（2026年3月）

※以下は、ブルンジ主要メディア（RTNB、IWACU等）の記事取りまとめ。

1. 政治・外交

今月のンダイシミア大統領の主要な動きは以下のとおり。

- 2日、AUが任命したコンゴ（民）東部紛争の仲介役による表敬。ボツワナの元大統領などが参加。
- 7日、第25回東アフリカ共同体（EAC）首脳会合出席のため、タンザニアのアルーシャ訪問。
- 9日、首都ギテガで行われた国際女性デーを祝うイベントに大統領夫人と共に参加。
- 17日、バニヤムレンゲ（コンゴ（民）系ツチ）団体による表敬。同団体は、コンゴ（民）東部の平和と安定に向けたンダイシミア大統領の貢献を賞賛した。
- 18～23日、コロンビアで行われた「ラテンアメリカ・カリブ諸国共同体・アフリカハイレベルフォーラム」参加のため、コロンビア訪問。同国滞在中、コロンビア大統領、ブラジル大統領、ウルグアイ大統領、在ギニアビサウAU特別代表等と会談を行った。
- 28～29日、赤道ギニアのマラボで開催された「第11回アフリカ・カリブ海、太平洋諸国首脳会合」に参加。
- 30日、トゥアデラ大統領の就任式出席のため、中央アフリカ訪問。

内政に関し、

- 31日、経済的首都のブジュンブラにある武器庫にて火災が起き、大規模な爆発が発生。4月1日付のブルンジ軍声明で、13名が死亡、57名が負傷したことが発表された。

外交に関し、

- 17日、ハンガリー、中国の新大使による信任状奉呈。4月1日にはガンビア、アンゴラの新大使による信任状奉呈が行われた。

2. 経済

- 鉱物資源の輸出は継続しており、26日にはキベヤ産業大臣がブジュンブラにてアメジスト、緑水省、ベリリウム、レアアースなどの出荷式に出席した。これら鉱物資源は主に中国向けに輸出される。

（了）